

ほほえみ結ぶ・しめ新聞

志免中学校
支え合い
新聞社

支え合い新聞部が支え合い新聞社に！



今回の第6号から「支え合い新聞部」は「支え合い新聞社」として活動していくことになりました！
これまで新聞部の新聞を読んでいただき、ありがとうございます。
これからは新聞社として、志免町の魅力が伝わるよう、社員一同、精一杯頑張つていきますので、応援よろしくお願いします。

支え合い新聞社として初めての活動は志免町のオススメスポットや、小中学校の校長先生のお話など、私達の住む志免町の魅力が詰まった号となっています。どうぞ楽しんでご覧ください！

目次



町民憩いの場シーメイト	2・3
志免町の象徴「豎坑櫓」	4
校長先生へインタビュー	5
志免中央小学校	6
校長先生へインタビュー	7
志免中学校	8
追悼！東努さん	
編集後記	



気になる情報がたくさん！

なんと！校長先生への突撃インタビューも！

社長の決意表明

支え合い新聞社社長の
岡出 葵です。

私は新聞を作る活動を通して、地域の方と様々な関わりをもたせていただきました。この経験は貴重なもので、例えば戦争をテーマとした、第五号のインタビューでは、貴重な体験談を聞くことができました。自分が知らない様々なことを経験することで、人生を通して大切なことを学んだと感じています。

私がした経験をもっと色んな人に味わってもらいたいと考えています。そのため、新聞社をもっと知ってもらい、成長していけるよう、頑張っていく予定です。応援よろしくお願



将来有名になった時のサインはこれ！

志免町総合福祉施設「シーメイト」について

シーメイトは、高齢者、障害者、児童などに関する福祉情報の発信、住民の福祉意識の高揚、及びあらゆる世代間交流の推進により福祉の心がかようまちづくりをめざして様々な活動の場を提供する施設です。

○シーメイトの湯

シーメイトの湯にはコスモスの湯(ジェットバス付き)とさくらの湯の2つがあります。

料金は、

65歳以上	¥250
中学生以上	¥300
小学生	¥120
小学生未満	無料

電子浴ルームもあります ✨

また、入浴用品も購入し使用することができます。

さくらの湯

コスモスの湯



TEL 092 - 936 - 8141

シルバー人材センターの方々がお風呂の掃除をしてくださっています。夏の暑い日も、たくさん汗をかきながらきれいにしてくださっていました。

○志免町 子育て支援センター

こんな悩みありませんか？

- ・初めての子育てで不安がいっぱい。
- ・外に遊びに行きたいけどどこに行ったらいいのかわからない。
- ・幼稚園や保育園ってどうやって決めたらいいの？
- ・子どもの発達のことが心配。...など



子育て支援センターは、志免町の子育て家庭を支える場所。

子育てに関すること、ご自身のこと、お悩みのことがありましたら、一人で抱えず、子育て支援センターをご利用ください。

にじいろポケット

赤ちゃんとのんびり遊ぶことができる場所。0~12歳までのお子さんが保護者同伴でご利用できます。就学前のお子さんを対象とした遊具やおもちゃもあります ✨

はなまるポケット

志免町在住の0~18歳までのお子さんや保護者の方がご利用できます。保護者と赤ちゃんが集う赤ちゃんサロンの開催やおもちゃの貸出を行っています 😊 また、子育ての情報提供や、子育て相談なども行っています。

※子育て支援センター内には子育ての援助活動を行う「ファミリー・サポート・センター」しめも併設しています。

TEL 092-936-5500



シーメイトのシンボル「ふれあい」

人と人が寄り添い、助け合い、楽しく語り合う光景です。世代を超えて、全ての人々が共に支え合う社会を願うものです。

シーメイト 熊本 仁（ひとし）館長からのご挨拶

シーメイトは、2004年にオープンした、志免町民の健康と福祉のための情報発信施設です。時代の経過と共に社会情勢が変化し、シーメイトに寄せられる役割が年々増している様に感じています。

ダイバシティが叫ばれる昨今、この場所でいろんな方が集い、交流する事は貴重なことです。特に、これからの時代は住民同士による「支え合いや助け合い」は重要です。

今の時代は、事縁がそれを生みだすきっかけになっています。その「コト」を通じた繋がりが継続するからこそ仲間となり「支え合いや助け合い」に発展します。その繋がりを支えるためにもシーメイトの存在は大切であり、その継続的提供ができるよう今後とも尽力をしていきます。



まだまだあるよ、シーメイトの魅力的なスポット！！

シーメイトには、まだまだこんなスポットがあります。詳しくは、以下のURLよりご覧ください。

<https://www.town.shime.lg.jp/site/shimete/>

◆1階には”シーメイトホール” ”畳の大広間” ”貸しスペース”があります。

●シーメイトホール

演劇やコンサート。そして大会やシンポジウムなど、多彩な用途に使える空間です。

●畳の大広間

テレビやマッサージ機があり、将棋や囲碁もできます。食事をしたり、一息つくために最適な憩いのスペースです。

●貸しスペース

ダンスの練習をしたり、会議や勉強会等でも利用ができます。

●その他

ピアノ演奏ができるエントランスがある他、社会福祉協議会の事務所やできサービス等介護サービス提供の事業所があります。また、療育支援施設もございます。

◆2階には多様な用途で使う事ができる”貸スペース”があります。

会議・工芸・調理実習・研修等々で使用するお部屋を用意しています。

◆また敷地内にも多々のスペースがあるのです。

シーメイトグランドや多目的広場。そして、なかよしパークという公園や広場もあります。週末には、シルバー人材センターの方がお店を開け、焼き芋やコーヒー等の軽飲食を提供して下さいます。また、敷地を取り囲むようにしてウォーキングロードやポケットパークもあり、多くの方々にご利用いただいています。



旧志免鋳業所竪坑櫓



所在地：福岡市糟屋郡志免町大字志免

所有者：志免町

竣工：1943年（昭和18）年5月10日

大きさ：高さ47.6m、長辺15.3m、短辺12.3m

（自由の女神、銅像の高さとほぼ同じくらい）

制作者：第四海軍燃料廠

文化財指定：2009（平成21）年12月8日

旧志免鋳業所竪坑櫓の歴史

1943年 竪坑櫓完成

（現在の価値に換算すると6.6億円）

1949年 第二次世界大戦集結後、志免炭鋳は持ち主を転々とした結果国鉄へ

1953年 志免鋳業所第六坑を第五坑に統合

1957年～ 戦後も多くの石炭を生産し日本戦後の戦後復帰を支えましたが、やがてエネルギー革命により石炭の需要は低下しました。

1964年 日本国有鉄道志免鋳業所閉山。

1966年 竪坑閉塞。

2006年 竪坑櫓の敷地が志免町の所有になりました。

2007年 国の有形文化財に登録。

2009年 国の重要文化財に指定。

2010年 福岡県の史跡と社会的に再評価される動きが高まってきました。

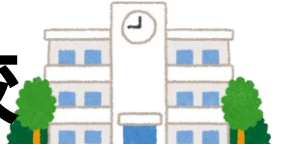
2013年 重要文化財 旧志免鋳業所 竪坑櫓保存活用計画 策定

2025年 周辺は公園として整備されていますが、本体にはフェンスが設置され、立ち入りは禁止されています。





志免中央小学校



明治6年設立の「榎幹小学校」から数回の改称を経て、昭和48年に現在の「志免中央小学校」となった歴史と伝統ある学校

先生の紹介

佐藤 千晶校長先生

(さとう ちあき)

私達中学生が志免中央小学校に突撃インタビュー!!

1:Q.中央小の好きなところを教えてください。

A.志免町の中央にあり、152年の歴史や伝統のある小学校で志免町の代表的なところです。

2:Q.校長先生の主な仕事を教えてください。

A.教室を回って子どもたちと先生の様子を見ることや、担任の先生にフィードバックで伝えることです。

3:Q.なぜ校長先生になりたかったのですか？

A.教諭時代も楽しかったですが、自分が理想とする学校の土台作りができるため校長先生を目指していました。

4:Q.なぜ中学や高校ではなく、小学校にしたのですか？

A.中高だと専門性が高く、1教科しか教えることができないからです。小学校はいろいろな教科を1人で教えます。児童と多くの時間を関わることが魅力だと感じました。

5:Q.校長になってよかったことを教えてください。

A.校長という役割を通して色々な人に出会えることです。

6:Q.大変だったことはありますか？

A.児童数920人職員数80人という人数が多いなかで、代表としての児童の安心安全の心構えを常にもっておく必要があることです。仕事量は減りますが、質は高まったと感じます。

7:Q.こだわっているルーティーンはありますか？

A.毎朝校門にたって学校の状況を理解し校長室の環境を整えたりすることです。例えば植物をおいたり掃除をしたりしています。

8:Q.好きな給食ランキングは？

- A. No,1 きなこ揚げパン
No,2 丸天うどん
No,3 ジャガイもの旨煮



とても冷静で優しい佐藤先生、ありがとうございました。



志免中学校

志免中学校は1947年4月に設立されました。
校訓は「個性伸展・敬愛協力・生産創造」です。

先生の紹介

仲村 夏江校長先生
(なかむら なつえ)



私達中学生が校長先生に突撃インタビュー！！

1:Q.志免中の好きなところを教えてください

A.子供たちが生き生きしている、楽しそうなところです。

2:Q.校長先生の主な仕事を教えてください

A.皆さんの命、心と体を守ることです。家から元気に「行ってきます!」、学校から帰ってきて「ただいま!」を言える環境を作ることです。しなやかな感情は人生の土台。そこを培っていく場を作ることが仕事です。

3:Q.なぜ校長先生になりたいと思ったのですか?

A.先輩の先生方からの助言で自分の学級だけでなく学校全体を支えたいと思ったから。

4:Q.校長先生になる前となったあとでは変化がありましたか?

A.眼力が強くなりました。目や表情を見て、生徒の体調(体も心も)を確認できるのできちんと目を見ることを意識しています。

5:Q.大変だったことがあれば教えてください

A.大変だったことは思いつきません。大変なことよりもやりがいのあることが多いです。

6:Q.こだわっているルーティーンはありますか?

A.玄関や昇降口などの環境を大切にしたいので、毎朝整えています。ディズニーランドではゴミは「夢のカケラ」と考えているそうなので私もゴミを拾うときはそのように考えるようにしています。また、朝昇降口に立って、全校生徒と挨拶することも大切にしています。朝を目を見て1000人と挨拶ができるようにしています。

7:Q.好きな給食を教えてください

A.全部好きですが、一番を決めるのなら肉ご飯です!



8:Q.挑戦してよかったことはなんですか?

A.校長として生徒の前で夢を語れることです。私は生徒に「しなやかな人生を送ってほしい」と考えています。また、生涯に渡っての夢をもつことの大切さなどを生徒に伝えることができるのが良かったと思うことです。

9:Q.生徒や卒業生に伝えたいことがあれば教えてください

A.ネットやスマホが普及している現在、私は直接見て、話して、感じてほしいと思っています。感情を大切に。どんなことからでもいいから感動経験を積んでほしいです。また、様々な年代の人と関わってほしいです。どんな経験にも無駄なことはありません。

10:Q.学校の好きなところを教えてください

A.志免中学校は80年の歴史があり、立志式などは地域の方が一緒に作り上げており、またたくさん関わっていただけるところが好きなところです。

情熱的な仲村先生、ありがとうございました。

追悼！ 東 努（あずまつとむ）さん

【ほほえみ結ぶ・しめ新聞第5号】に於いて、「いのち・生きるとは」を学ばせて頂いた東努さんが、2026年の1月5日にこの世を去った（享年100歳）。

2025年の3月5日（木）、東さんの100歳祝いと、志免中学校を卒業していく3年生社員の送り出しを兼ねたピアノ演奏会を開催する予定だった。この日を、東さんや中学生諸氏も楽しみにしていたと想う。

昨年（2024年）の11月、東さんのお見舞いに行った時のことだ。

「東さん、3月5日は楽しみですね。中学生の皆と演奏会ですよ」と話しかけると（うん・うん）と頷かれる。そして、（中学生の皆は私の友達です。楽しみにしています）と、いつもの笑顔で話しかけて下さった。

（最近困ったことが起きるようになってきました。それは人の名前や約束を忘れることです。これはいかながなものか？と悩んでいましたが、妙案が浮かびましたのでそうすることに決めました）

「東さん、それはどういう案ですか？」（いくら覚えても忘れていきます。だから、忘れることを受け入れる事にしましたのです。忘れてもいい。その代わりに、新しい事を覚えれば良い。そう考える事にしました）

98歳から習字のお弟子さんに師事し、ピアノを習い始めます。98歳からの挑戦。凄いですね。そして練習をしていた曲は『歓喜の歌』でした。

（ピアノっていうものはなかなか難しいですね。両手で弾けるようになるには、とてつもない時間がかかりそうです。）

この会話から、東さんがお友達と称する志免中学校支え合い新聞社の3年生部員との演奏会へと発展し学校から許可を頂いた後に、正式な企画となりました。しかし..

東さん、私達は東さんから教えて頂いた「愛」を心のど真ん中に据えて生きていきます。もし、愛する人の生命が脅かされるような時は、貴男が仰った「命を懸けて護るんだ！」の言葉通り、愛を真ん中に据え、一所懸命に生きていきます。

耳を澄ませば、あの時の、東さんの声が聴こえてきます。東さん、どうぞ、安らかにお休みください。そして、天国より中学生のお友達を見守り、愛を貫ける生き方ができるよう後押しをお願いします（合掌）



東努さんのことは
決して忘れません！



編集後記

人口密度が高いと言われる志免町。なぜ、幅広い年齢層の方々がこの地を選んでいるのか？取材をさせて頂く中でわかったのは、”どんな人でも住みやすい町づくりを目指している”ということです。子供から大人まで、住みやすいと想う環境や制度が整備されていると感じます。

特に今回取材をさせて頂いたシーメイトには、高齢者の為の施設や、学生でも過ごしやすいスペース。子育てを助ける為の子育て支援センターなど、本当にどんな人でも暮らしやすい町づくりを目指していると感じました。

そんな志免町の魅力が少しでも伝わればいいな..と思います。最後まで読んで下さり、ありがとうございました。これからも、どうぞ、応援を宜しくお願いします！！

編集メンバー

◆中学生部員

3年生 岡出 葵 沖平 咲希 小山田ゆい 千藏 小英 永田遼太郎 渡邊 桐悟

2年生 茨木 慶悟 鬼塚 絢菜 河口 遥斗 住永 実咲 白石 桃子 寺園 佑斗 廣田このみ
松尾 風香 宮原 来心 山口 紗奈

◆大人部員

志免中学校有志の皆さま、NPO法人志免地域支え合い互助基金 会員の皆さま



お問い合わせ

志免地域支え合い互助基金のホームページにあるお問い合わせのページを通じて新聞に対するご意見や感想をお寄せください。

どうぞ、よろしくお願い致します。

ホームページの二次元バーコードはこちら→



ほほえみ 結ぶ・しめ新聞

2026年2月18日発行 Vol.6

発行元/NPO法人志免地域支え合い互助基金

住 所/福岡県糟屋郡志免町別府2-2-1

T E L/092-692-1512

発行責任者/理事長 青戸 雄司

編 集/志免中学校 支え合い新聞社 有志の皆さま

U R L/https://shimekikin.org/shime-newspaper